

BSE 8 例目、9 例目の発生について

平成 15 年 11 月
農林水産省消費・安全局

1 BSE 8 例目の概要

- (1) 9 月 29 日茨城県のと畜場だと畜。
- (2) 10 月 6 日の厚生労働省の専門家会議で「非定型的な BSE」と判定。農林水産省では、10 月 7 日、22 日に BSE 技術検討会を開催し、防疫対応は、従来の BSE と同じでよいと判断。
- (3) その後、イタリアでも、従来型とは異なる BSE が確認されており、専門家の間でも国際的に連携を図りながら、研究を進める動きが出ている。

2 9 例目の概要

- (1) 10 月 29 日、広島県のと畜場だと畜。
- (2) 11 月 4 日、厚生労働省の専門家会議で従来型の BSE と判定。

3 対応状況

(1) 疑似患畜の特定と処分

8 例目については、青森県、岩手県、栃木県、群馬県、鹿児島県で飼養されていた同居歴のある牛 116 頭を特定し処分中。

9 例目については、兵庫県、広島県、京都府、岡山県で飼養されていた同居歴のある牛 134 頭を特定し処分中。

(2) 感染源・感染経路の究明

8 例目及び 9 例目は、いずれも従来と異なる若齢の牛で、肉骨粉給与禁止後に産まれたものであったことから、飼料の交差汚染等の可能性を含め、飼料工場への立入検査等を行うとともに、収集した資料の分析を進めているところ。

これまでのBSE感染牛の概要

	発生年月日 (注)	農家所在地(経営形態)	畜 種	生年月日 (月齢)	発生時飼養頭数 (うち疑似患者)
1例目	13年 9月10日	千葉県白井市(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年3月26日 (65か月齢)	46頭(44頭)
		(導入元) 北海道佐呂間町(酪農)			発生時には既に 廃業
2例目	13年11月21日	北海道猿払村(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年 4月 4日 (67か月齢)	82頭(62頭)
3例目	13年12月 2日	群馬県宮城村(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年 3月26日 (68か月齢)	68頭(56頭)
4例目	14年 5月13日	北海道音別町(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年 3月23日 (73か月齢)	56頭(44頭)
5例目	14年 8月23日	神奈川県伊勢原市 (酪農)	ホルスタイン種 (雌)	7年12月 5日 (80か月齢)	47頭(37頭)
6例目	15年 1月20日	和歌山県粉河町(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年 2月10日 (83か月齢)	51頭(0頭)
		(導入元) 北海道標茶町(酪農)			98頭(27頭)
7例目	15年 1月23日	北海道網走市(酪農)	ホルスタイン種 (雌)	8年 3月28日 (81か月齢)	131頭(0頭)
		(導入元) 北海道湧別町(酪農)			59頭(7頭)
8例目 (非定型的)	15年10月7日	福島県葛尾村 (肥育)			
		栃木県大田原市 (哺育・育成)	ホルスタイン種 (雄、去勢)	13年10月13日 (23か月齢)	疑似患者 ^{2,3} 116頭
		栃木県塩谷町(酪農)			
9例目	15年11月4日	広島県福山市 (育成・肥育)	ホルスタイン種 (雄、去勢)	14年1月13日 (21か月齢)	疑似患者 ^{2,3} 134頭
		(導入元) 兵庫県氷上郡(酪農)			

注1：1例目は、BSE検査で陽性が確認された年月日であり、2例目以降は確定診断された年月日

2：このほか、平成15年2月5日に神奈川県のと畜場で処理されたスクリーニング検査陽性牛については、2月8日及び3月27日の「牛海綿状脳症(BSE)の検査に係る専門家会議」においてBSE陰性と判断するに至っていない。

3：飼養農場からの移動牛を含む。

平成15年10月22日
農 林 水 産 省

第20回牛海綿状脳症（BSE）に関する技術検討会の概要について

- 1 日時
平成15年10月22日（水）15：30～17：15まで
- 2 場所
農林水産省 第2特別会議室
- 3 会議概要
 - (1) 今回の非定型的なBSEの異常プリオンたん白質に係る遺伝子配列については、従来のBSEの異常プリオンたん白質に係る遺伝子配列と相違ないことが確認された旨報告があり、今回の非定型的なBSEについては遺伝性である可能性はないとの見解が示された。
 - (2) BSEの異常プリオンたん白質に様々なタイプがあることはむしろ自然であり、今回の非定型的なBSEについても、従来と同様の対応を行うべきとの見解が示された。
 - (3) 今回の非定型的なBSEの感染原因・感染経路に係る調査については、従来のものと同様、飼料が重要であり、9月30日に報告されたBSE疫学検討チームによる疫学的分析結果報告のシナリオにも沿って、飼料の製造から給与までの交差汚染の可能性等について精査すべきとされた。
 - (4) 今回の非定型的なBSEとイタリア及びフランスの事例との関係については、イタリアの事例とは糖鎖パターンに相違があり、フランスの事例については従来のタイプとは異なるとの見解が示され、今回の事例も含め、新たなタイプのBSEについては、諸外国や国際機関とも連携し調査を進めて行くべきとの見解が示された。
- 4 その他
 - (1) 今後の防疫対応について
患畜との同居牛（別紙1）の取扱いについては、防疫対応を変更すべき新たな知見もないことから、現行のBSE検査対応マニュアルに基づき措置することとする。
 - (2) 給与飼料の調査状況について
現在までに確認されている患畜に給与された飼料の概要は別紙2のとおり。なお、今後、当該飼料の製造工場への立入検査を実施することとする。

【報道に当たっては関係農家等に配慮願います。】

連絡先	農林水産省消費・安全局
電 話	03-3502-8111（代表）
担当者	衛生管理課 小倉（内線3202） 杉崎（内線3220）
	03-3502-8206（直通）

「非定型的な B S E」感染牛に係る疑似患畜の条件に該当すると確認された牛

(平成 15 年 10 月 22 日現在)

1 患畜の飼養履歴がある農場の牛

患畜の飼養農場		疑似患畜に該当する牛 (注 1)
区 分	所在地	
出生農場	栃木県塩谷町	2
家畜商	栃木県	0
哺育・育成農場	栃木県大田原市	0
肥育農場	福島県葛尾村	0
一時けい留農場	栃木県南那須町	1 (注 2)
合 計		3

注 1 : 当該牛が 1 歳になるまでの間に、生後 1 年以内の患畜と同居し、同じ飼料を給与された牛を示す (以下同じ。)

注 2 : 哺育・育成農場から移動された牛を示す。

2 患畜の飼養履歴がある農場から移動

単位 : 戸数 (カッコ内は頭数)

	由来農場 (注 3)			疑似患畜に 該当する牛
	出生農場	哺育・育成農場	肥育農場	
青森県	—	2 (29)	—	2 (29)
岩手県	—	1 (19)	—	1 (19)
栃木県	1 (2) (注 4)	1 (1)	—	2 (3)
群馬県	—	1 (5)	—	1 (5)
鹿児島県	—	1 (60)	—	1 (60)
合計	1 (2)	6 (114)	0	7 (116)

注 3 : 患畜が出荷前に一時けい留された農場においては、患畜が既に生後 1 年以上となっていたため、哺育・育成農場から移動した牛 (1 頭) を除き、疑似患畜に該当する牛は存在しない。

注 4 : 出生農場には、患畜と同居していた牛 (2 頭) が現在も飼養されている。

「非定型的なBSE」感染牛への給与が確認された飼料

別紙 2

1 出生農場(栃木県)

【配合飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
明治飼糧株式会社 鹿島工場	明治配合飼料プレミアムメイラック	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料	20kg紙袋	調査中

2 家畜商(栃木県)

【配合飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
鹿島飼料株式会社 鹿島工場	日配ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料みるくの薫り	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料	20kg紙袋	調査中

3 哺育育成農場(栃木県)

【配合飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
明治飼糧株式会社 鹿島工場	あけぼの配合飼料子牛用代用乳あけぼのミルクリプレイサー	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料	20kg紙袋	調査中
明治飼糧株式会社 鹿島工場	あけぼの印配合飼料子牛用人工乳あけぼのカーフスターター	ほ乳期子牛育成用配合飼料	500KgCB	調査中
株式会社ジャパンフィード 鹿島工場	あけぼの配合飼料ニューモーヤング	幼令肉用牛育成用配合飼料	500KgCB	調査中

【補助飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
フジタ製薬株式会社 東京工場	神明ビタミン	飼料添加物	20kg紙袋	調査中

【粗飼料】

輸入業者	商品名	産地	形態	原材料
調査中	フェスキューストロー	米国	50kg梱包	調査中

4 肥育育成農場(福島県)

【配合飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
日本農産工業株式会社 塩釜工場	肉牛マッシュ後期	肉用牛肥育用配合飼料	バラ	調査中
日本農産工業株式会社 塩釜工場	M肉牛マッシュ後期	肉用牛肥育用配合飼料	バラ	調査中

【補助飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
フジタ製薬株式会社 東京工場	神明ビタミン	飼料添加物	20kg紙袋	調査中

【粗飼料】

輸入業者	商品名	産地	形態	原材料
調査中	フェスキューストロー	米国	50kg梱包	調査中

【単体飼料】

製造元	商品名	飼料の種類	形態	原材料
味の素製油株式会社 千葉工場	豆皮(大豆皮)	単体飼料	15kg紙袋	調査中

5. 出荷前一時けい留農場(栃木県)

【粗飼料】

輸入業者	商品名	産地	形態	原材料
調査中	フェスキューストロー	米国	50kg梱包	調査中

平成15年11月18日
農 林 水 産 省

BSE患畜（第9例目）に関する情報

本日、別紙のとおり、国内9例目のBSE感染牛に関する情報を取りまとめましたので、お知らせします。

なお、疑似患畜（別紙1）については、現行のBSE検査対応マニュアルに基づき防疫措置がとられています。

また、現在までに確認されている患畜に給与された飼料（別紙2）については、今後、当該飼料の製造工場への立入検査を実施することとなります。

連絡先 農林水産省消費・安全局

電 話：03-3502-8111（代表）

担当者：衛生管理課 伏見（内線3223）

杉崎（内線3220）

橋本（内線3174）

03-3502-5994（直通）

国内 9 例目の B S E 感染牛に係る疑似患畜の条件に該当すると確認された牛
(平成 1 5 年 1 1 月 1 8 日現在)

1 「患畜の飼養履歴がある農場」の牛

単位：頭数 (カッコ内は戸数)

患畜の飼養農場	疑似患畜に該当する牛 (注)	
出生農場 (兵庫県)	9	(1)
出荷農場 (広島県)	1 1 6	(1)
合 計	1 2 5	(2)

注：当該牛が 1 歳になるまでの間に、生後 1 年以内の患畜と同居し、同じ飼料を給与された牛を示す (以下同じ。)

2 「患畜の飼養履歴がある農場」から移動した牛

単位：頭数 (カッコ内は戸数)

	疑似患畜に該当する牛	
京都府	1	(1)
岡山県	8	(1)
合 計	9	(2)

3 合計

1 3 4 頭 (4 戸)

9例目の感染牛に1歳までに給与された配合飼料
(平成15年11月18日現在)

1 出生農場(兵庫県)

製造元	商品名	飼料の種類
全国酪農業協同組合連合会 関東飼料工場	カーフトップ	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料
株式会社東海全畜産配合飼料公社 配合飼料工場	ニューメイクスター	ほ乳期子牛育成用配合飼料

2 出荷農場(広島県)

製造元	商品名	飼料の種類
明治飼糧株式会社 鹿島工場	明治配合飼料プレミアムメイラック	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料
株式会社科学飼料研究所 日向工場	くみあい配合飼料しんミルク	ほ乳期子牛育成用代用乳用配合飼料
中国物産株式会社	ヒシチュー印子牛用スーパースターター	幼齢肉用牛育成用配合飼料
中国物産株式会社	スーパー育成	肉用牛肥育用配合飼料
中国物産株式会社	新スーパー前期	肉用牛肥育用配合飼料

BSEに係る我が国の国境措置の概要

平成 15 年 11 月
農 林 水 産 省
消 費 ・ 安 全 局

品目	未発生国	発生国	備考
生体牛	○	×	
牛肉・牛肉製品	○	×	第三国経由での輸入も行われないように措置しているところ。
肉骨粉	×	×	未発生国が突然発生国に転じる場合が否定できないことから、感染源となりうる肉骨粉の輸入を全面的に停止する。
乳製品	○	○	OIE コードにおいては、発生国であっても輸入制限をしてはならないとされている。
精液	○	○	同上
受精卵	○	×	OIE コードにおいては、国際受精卵学会の勧告に従って採取・取り扱われた受精卵については、発生国であっても輸入制限をしてはならないとしており、発生国からの輸入も可能とすることについて食品安全委員会の意見を聞いているところ。

(注) ○；輸入可能、×；輸入停止